

# 衆議院小選挙区選出議員選挙公報 (佐賀県第1区選挙区)

佐賀県選挙管理委員会

## 明るく温かい社会をつくりましょう

### 01 人が人であるために

全ての法律の基は人権にあります。チャレンジをタックスペイヤーに。全ての人がその人らしく生きられる社会を。言論の壱を作り自由と人権を保障します。人が人としての尊厳を守るための社会保障制度を確立し命と暮らしを守るために改革を行います。医療、子育て、福祉人材確保に重点を置きます。立憲主義への国民の信頼を取り戻します。

### 04 地域協働体を民主主義をそして未来を創造する協働のための地域主権改革

地域主権改革は主権者国民による改革です。依存と分配の政治から自立と創造の政治へ。一括交付金を復活させ権限、財源の移譲を進めます。自らの責任と協働において地域を作ることにより地域共同体をより強靱なものにして災害や危機から命を守ります。支え合う共同体を作ることファシズムから民主主義を守ることでもあります。

### 07 佐賀の農林水産業を守る

中山間地の農地や森でのなりわいと営みを守り、豊かな地域を再生します。有明海の手、佐賀牛をはじめとした佐賀ブランドの農作物を積極的に発信します。食の安全・安心を守るため、消費者と生産者が直接つながりあえる環境を作ります。

### 02 人間の安全保障

日米同盟の適正化と紛争解決プログラム構築を行います。人間の安全保障と非核の命を広げ平和創造のプロセスを前進させます。日米地位協定を改定します。北東アジアに未だに残る冷戦構造を終結させます。北朝鮮の核・ミサイル、拉致問題を解決します。貧困と飢餓、紛争を防止し難民問題の解決につなげます。国連常任理事国入りを目指します。

### 05 未来の学校から始まる協働教育

ICTを活用した未来の学校で協働教育を進めます。真善美、感動を共有することにより共に支え共に問題を解決する教育を実践します。知的創造と支え合う社会の基盤、人間の安全保障も全て教育から始まります。競争だけでなく協働を。学ぶ大変さを知るのではなく教え合う楽しさ。人への投資を拡大することによりトリクルダウン型の社会ではなく泉の水がわき出るようなファウンテン型の社会を目指します。

**原口一博**  
プロフィール

◎昭和34年佐賀市生まれ。東京大学文学部心理学科卒業後、松下政経塾4期生として入塾。  
◎昭和62年、27歳で佐賀県議会議員に初当選、2期連続当選。  
◎平成8年、37歳で衆議院議員に初当選し、現在7期目。民主党ネクスト規制改革大臣、民主党ネクスト総務大臣、衆議院総務委員会理事、予算委員会理事などを歴任。  
◎平成21年の政権交代後、初の総務大臣、内閣府特命担当大臣(地域主権推進担当)に就任。  
◎平成22年より衆議院総務委員長。◎平成23年より民主党副代表。  
◎平成29年より民進党副代表。衆議院総務委員長、筆頭理事、予算委員会理事等を歴任。国家主権と国民を守るために行動する議員連盟共同代表、拉致議連副会長、民主党市民政策議連会長、国際障害者の権利条約議連副会長。

### 03 人間らしい働き方改革から始めるファウンテン型経済成長戦略

全ての人への投資を増やし人間らしい働き方改革を行います。国際連帯税を導入、マネーゲーム規制を強化します。家計セクターへの公正な分配を確保し実体経済を上向かせます。光の道構想ICTビジョンを実行し生産性を上げサービス産業の高度化、知的財産の創造、地域中小企業支援金融を拡大します。

### 06 資源を奪い合い貪り合う世界を変える緑の分権改革

大規模・独占・集中・寡占のエネルギー、資源、金融の構造が貧富の格差を生み貧困と飢餓、戦争の原因を作ってきました。緑の分権改革を行うことで小規模・公正・分散・共生の構造へ大転換を図ります。地域の創富力を増すことにより人間らしい暮らし方を保障するための基礎を作ります。ルールにおける競争を改め肥大化し続ける通貨を減価させる仕組みを導入します。



佐賀県第1区  
**原口一博**

# 国をまもる、故郷をまもる。

- 岩田かずちか「真っ向勝負」事項**
- 地方が実感できる景気回復
  - 産業活性、観光資源作り、インフラ整備
  - 農林水産業、地場産業を積極的に強化
  - 中山間地域の暮らしの強化
  - 社会保障の強化と子ども政策の強化
  - 安全保障と国防の整備

**プロフィール**

- 昭和48年9月20日生まれ。
- 佐賀市の勸興小、成章中、佐賀西高と地元育ち。
- 九州大学法学部卒業後、大前研一氏に師事。
- 全国最年少の25歳で佐賀県議会議員に初当選。以来3期12年。
- 平成24年、衆議院議員初当選。
- 平成26年、衆議院議員2期目当選。

地方が  
元気にならないと、  
日本は  
元気にならないと、  
元気にならないんです。

故郷作りには  
真っ向勝負していきまーす！  
アツい郷土愛をもって、  
ガンガン挑み、  
元気な日本、安全な日本そして、  
もっと住みたくなる佐賀、  
だから私、岩田かずちかは、

故郷を、佐賀を守りたい。  
暮らしを、安全を、  
この国で生きる国民のみなさまの  
佐賀で生きる県民のみなさまの



佐賀一区自民党公認候補  
**岩田かずちか**

清潔で、勇断できる政治を。

# なかしま 中島とおる

佐賀が1番 幸福実現党

- ①オスプレイの佐賀空港配備を勇断!
- ②消費税を5%に引き下げ、家計を守ります。
- ③暮らしやすさNo.1を追求し、実感できる街づくり。

幸福実現党 公式サイト [hr-party.jp](http://hr-party.jp) 中島とおる プロフィール

比例は **幸福** (略称:幸福)  
こう ふう く  
**幸福**  
とお書きください



なかしま  
**中島とおる**  
衆議院議員候補 幸福実現党公認

# 衆議院小選挙区選出議員選挙公報 (佐賀県第1区選挙区)

佐賀県選挙管理委員会

## 衆議院議員選挙小選挙区図[佐賀県]



### 投票日は

# 10月22日(日曜日)



### 小選挙区選挙

投票用紙の色は  
ピンク色

個人に投票します



### 比例代表選挙

投票用紙の色は  
あさぎ色

政党に投票します

### 投票時間は

午前 午後  
**7**時から**8**時まで

※一部の投票所を除く。

### 投票日に投票できない方は

10月22日の投票日に旅行や用務で投票できない方は  
期日前投票を利用しましょう。  
期日前投票は、選挙人名簿登録地の市町で投票日  
前日までに投票を行う制度で、手続きも簡単です。  
■期日前投票のできる期間  
10月11日(水)～10月21日(土)までの毎日  
※8:30～20:00まで(土曜日・日曜日でもできます。)  
※一部の期日前投票所を除く。

## 比例代表選挙の選挙区は

比例代表選挙では、佐賀県は、九州選挙区(福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県)＜定数20人＞となります。

## 比例代表選挙の当選人の決定方法は

選挙区(佐賀県は九州選挙区)ごとに政党の得票数に応じて、各政党の当選人の数が決まります。次に、政党が届け出た候補者名簿には、各候補者の「当選人となるべき順位」が記載されていますので、その順に当選人が決まります。

ただし、小選挙区選挙との重複立候補者については、候補者名簿において全員又はその一部の者の順位を同一のものとする事ができるとされており、「同順位」と定められている重複立候補者間の当選順位は、「惜敗率(小選挙区選挙での最多得票者の得票に対するその候補者の得票の割合)」の高い順によることとなります。(なお、重複立候補者が小選挙区で当選した場合には、候補者名簿には記載されていないものとみなされます。)



あなたの一票大切に!

### 投票用紙の色は

小選挙区選挙は	ピンク色
比例代表選挙は	あさぎ色
国民審査は	うぐいす色